

風の丘墓地公園(西条市下島山)は、大切な人へ贈るメッセージの朗読会を10月20日、同墓地内で開催します。時間は10時から(雨天中止)。

旅立った人にも想いを 風の丘墓地公園

朗読会 10月20日



▲今治市民弦楽合奏団の生演奏にのせてプロの司会者が手紙などを朗読。まかな瑠音さんのライアー演奏会も開催

また今治市在住で、各地や海外でも、独自の演奏者として日本の音楽の世界を展開している、まかな瑠音さんのライアー演奏会も行われます。同公園の管理者、木村福生さん(52)は「石鐘山が見渡せ、秋風香るこの丘で、家族の絆や生命の尊さを感じませんか」と笑顔で話しています。

「子どもの音楽性広げたい」 作陽音楽コンクール 第1回子どもたちの技術・音楽性の向上のため、野上芳子(西条市丹原町田)が主催する。出場者1人ひとりに対し、1分間のアドバイスがつくなど、今まで

「できる限りの提案を」 秋のハートフルウェディング 今治国際ホテル 10月21日 今治国際ホテル(旭町2)は、秋のハートフルウェディングフェアを10月21日に開催します。一部(10時から13時)、一部(14時から17時)の2部制になっており、各15組限定です。

話し合い後のヴァンラーレ八戸戦は負けるも、これだけでいいと手ごたえがあり、その後は二連勝と勢いを取り戻している同クラブ。「悲壮感ばかりが大きくなり、サッカーを楽しむことを忘れていた」と振り返る楠美選手。

「頭で考え過ぎた」 サッカーを楽しんでいなかったと話す楠美選手

「頭で考え過ぎ、足が動いてなかった。自分たちのサッカーを信じ、やり続けるしかない」と再認識したと楠美圭史選手(24)。

低迷から脱出の光



FC今治

心一つにゴール目指そう

J3昇格を掲げ、夢に向かい走っていたFC今治。しかし、9月最初のホーム戦ホンダFCに惨敗。勝たなければという思いが強すぎ、サポーターに頭が上がらない試合が続いた。チームに流れる不穏な空気を変えたのは、選手ら全員で行なったミーティングだった。その後、勢を取り戻し、1敗をはさんで2連勝。J3昇格への光も射している。



▲「頭で考え過ぎた。サッカーを楽しんでいなかった」と話す楠美選手

「頭で考え過ぎた」 ▲「本当の強さはピッチで証明したい」と話す工藤監督



▲14日の試合にはご当地ラーメン博

ホーム戦10月14日 コバルトレ女川 13時キックオフ

練習の最後、楠美選手や金井龍生キャプテン(34)らが全員を呼び、グラウンドで輪になった。FC今治のサッカーとは何か。皆でボールをつなぎ、ゴールを目指す。答えはシンプルだった。「頭で考え過ぎ、足が動いてなかった。自分たちのサッカーを信じ、やり続けるしかない」と再認識したと楠美圭史選手(24)。

お得クーポン★マイタウン

50円引き ラーメンなる

白米・玄米 100円引き

5,000円以上のご利用で 1,000円OFF

10/13 水森かおりがやってくる! 「水に咲く花・支笏湖へ」発売記念 ミニステージ握手会&2ショット撮影会

10/14 星野くるみ ポートレート撮影会

10/14 わ〜ぷら祭り キャプテンウーピーとハロウィンキッズパーティ

baskinBRobbins 31アイスプレゼント

ワールドプラザ 5%OFF